

令和3年度 第1回給食センター運営委員会 議事録

- ・日時 令和3年7月30日（金）午後7時30分から午後8時40分
- ・場所 いがっこ給食センター元気 会議室
- ・議事
 - ・令和2年度 伊賀市給食センター会計収支決算及び会計監査報告について
 - ・令和2年度 伊賀市給食センター事業実施報告について
 - ・令和3年度 伊賀市給食センター事業実施計画及び予算（案）について
 - ・その他
- ・出席者
 - ・委員 11名（欠席4名）
井上亜古 高橋昌史 松田誠 峯晴美 藤山正道 向出益児
廣田実穂 居附久枝 福岡基樹 稲森仁美 赤澤奈央
 - ・事務局 7名
伊賀市教育委員会事務局長 月井敦子
学校教育課長 二井英夫
いがっこ給食センター元気・大山田給食センター所長 奥井直司
いがっこ給食センター夢所長 比口博
いがっこ給食センター元気副参事 藤森真由美
大山田給食センター副参事 福島昌子
いがっこ給食センター夢副参事 西堀昌子

議事録

司会（事務局）	（開会）
事務局	（あいさつ）
	（資料の確認、委員会成立確認、正副委員長選出）
	<u>議事1 令和2年度伊賀市給食センター会計収支決算及び会計監査報告について</u>

事務局	<p>(資料 1 令和 2 年度収支決算報告書により説明)</p> <p>(資料 1 監査報告により説明)</p> <p>(質疑等)</p>
委員	<p>繰越金額の幅は、どれくらいを目安としていますか。</p>
事務局	<p>繰越金について、金額的な定めはありませんが、不測の事態などに備えて、ある程度の金額は残しておこうという考え方ですが、あくまでも結果的なものではありません。</p>
委員	<p>その年に集金したものを次の年で支出することはどうですか。不測の事態に備えて、この金額幅でよいという事ですか。</p>
事務局	<p>結果的に、その年の経費などの具合により少なくなる場合もあります。3センターの繰越金の率が現在は均一ではないので、今後の課題にしたいと思います。</p>
委員	<p>集めたお金を来年度にプールすることについてはどうですか。年度ごとに精算することが基本と思うが、次年度へ残すことについて、保護者の方にもご理解いただかなければならないと思い質問をさせていただきました。</p>
委員長	<p>理解を得られているという事で、よろしくをお願いします。</p> <p>(他に質疑等無し、承認)</p>
	<p><u>議事 2 令和 2 年度伊賀市給食センター事業実績報告について</u></p>
事務局	<p>(資料 1 令和 2 年度伊賀市給食センター事業実績報告により説明)</p> <p>(質疑等無し、承認)</p>
	<p><u>議事 3 令和 3 年度 事業実施計画及び予算 (案) について</u></p>
事務局	<p>(資料 2 令和 3 年度事業実施計画により説明)</p>

委員	<p>(資料2 令和3年度予算書により説明)</p> <p>(質疑等)</p> <p>予算案の昨年度比から大幅増額は、昨年度の給食費無償化の影響ですか。また、不測の事態に備えた資金はつくらないのですか。</p>
事務局	<p>予算案の大幅増は、昨年度6月から12月に実施した給食費無償化の影響です。また、備蓄的資金についてですが、予算を考慮して最大限、栄養バランスのとれたメニューを作成していますが、次年度への繰越金的なものは、その時の食材価格や他の要因による影響を受けた結果として残ってくるもので、予算を組む段階では、収入と支出は同額で考えています。</p> <p>(他に質疑等無し、承認)</p>
事務局	<p><u>議事の4、その他</u></p> <p>いがっこ給食センター夢から各中学校へ提供している給食単価については、平成27年度から7年間見直していなかったが、給食材料費の値上げにより、これまでと同等の給食の質を保つことが困難になってきています。この理由により、令和4年4月から値上げさせていただきたいと考えています。</p>
委員	<p>先ほど、質疑にあがっていた給食会計に関する事ですが、昨年度は急遽、年度途中で伊賀スマイル給食や三重県産物資の補助をいただき、無償の食材が使えました。いがっこ給食センター元気で合計750万円近く、いがっこ給食センター夢では元気より食数が多いので、さらに多くの食材をいただいた経緯があります。年度初めに、そのことが決定していれば、考慮した献立作成が出来たが、年度途中で無償食材がいただける情報を受け、伊賀産や三重県産食材をたくさん食べていただきたいという事で、活用させていただきました。その結果として、いただいた給食費は残ってしまいましたが、こういった事情があることをお含みおきいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今後とも安心・安全でおいしい給食の提供に努めてまいりたいと考</p>

	<p>えておりますので、皆さま方におきましては、給食センターの運営にお力添えをくださるようお願いいたします。</p>
委員	<p>牛乳が献立に合わない場合があると思うが、どうですか。</p>
委員	<p>子どもが野菜嫌いなのですが、給食は残さず食べているようで、ありがとうございます。</p>
委員	<p>子どもが食べている給食について、以前は自校方式だったのが、センター方式になり、給食が冷めたものになるのか、食材が生なのか冷凍なのかなど、好き嫌いが激しくなったらどうしようと心配していましたが、実際給食センターから届いたものは、あたたかくておいしいという事だったので安心しました。ただ、メニューの中で苦手なものがあるという事でした。</p>
委員	<p>子どもは給食に関心があり、ありがたいことだと思います。嫌いなものがあったても、友達から、給食だから食べるように勧められている。嫌いなものを克服できる機会にもなり、とても良い環境にいると思います。また、自分の子どもの頃と比べて、メニューがとても多彩になっていて、職員の苦勞を感じます。食物アレルギーの方も増えていますが、対応いただきありがとうございます。</p>
委員	<p>子どもの給食について、自校方式からセンター方式に変わったが、以前と変わらずおいしいということだったのでありがたいと思います。また、保育所の時も自園方式で細かな配慮をしていただいたが、センターの給食もよろこんでいただいています。メニューが多彩で、そのメニューを家でせがまれることもあります。</p>
委員	<p>いがっこ給食センター元気の建設時から、かかわらせてもらっています。各小学校の給食が自校方式からセンター方式に切り替わる際に、なるべく従来の献立と同じ様なものが作れるように市内の栄養教諭とも意識や情報の共有化を図り設計をしました。その結果、同じ様なものが作れ、しかも、あたたかくておいしいとの感想をいただき、安心しています。</p> <p>また、牛乳が毎日メニューに入っている事につきましては意味があり、カルシウム摂取のために牛乳が欠かせないものとなっていて、1日1本という事がきまっています。このことについては、小・中</p>

学校の食育の授業などでも啓発しています。

次に、苦手なメニューがあるといった事につきましては、給食センターでは、毎回残食計量をしており、残食率が増えるという事は何か原因があると考えて、その原因を把握して次回の献立に反映するなどの対応を心がけています。よりおいしく食べてもらえるよう、これからも配慮していきたいと考えます。

作り方等の問い合わせについては、学校を通してでも、センターへ直接いただいても対応させていただきます。いがスマイル給食については、伊賀市のホームページへアップしているのでご覧ください。

(質疑等無し・議事終了)